



サイエンスエッジ株式会社

会社説明

サイエンスエッジ株式会社は、最先端の光学技術と顕微鏡技術を核に、革新的な光計測装置や分光分析装置、およびそれらを制御するソフトウェアの開発・製造・販売を一貫通貫で行う、日本発の最先端テクノロジー系スタートアップ企業です。

同社は2015年に創業され、大阪大学出身の内山知也氏（代表取締役社長 CEO）と太田泰輔氏（代表取締役 CTO）の共同経営によって、外部からの投資を受けることなく自己資金をベースに一歩ずつ着実かつ健全な事業構築を続けています。最大の強みは、長年培ってきたレーザー顕微鏡技術と分光技術を主軸とした高度な光技術力にあります。2022年には、高度な熱物性評価が可能な「周波数領域サモリフレクタンス顕微鏡（FDTR）」の開発に成功し、世界で初めてその製品化を達成しました。この製品（InFocus k FDTR）は、第38回中小企業優秀新技術・新製品賞において「一般部門・優良賞」を受賞するなど、高い技術力が業界内外から極めて高い評価を受けています。

同社が掲げる経営理念は、「サイエンスを追求し、ユーザーの欲求に飛び込み、発想を解き放ち、突き抜けた光技術製品を創り出す」というものです。単に顧客の期待に応えるだけの製品開発にとどまらず、顧客の期待を遥かに超えるような革新的な性能や機能を追求し、世界のサイエンスや最先端テクノロジーのさらなる発展に貢献することを目指しています。

主要な顧客は、日本国内の京都大学、大阪大学、東京工業大学、理化学研究所といった名門の大学や政府系研究機関、さらにはソニーセミコンダクタソリューションズやデンソーウェーブ、日本製鉄、積水化学工業といった日本を代表する大手民間企業の研究開発部門です。また、その技術力は国内にとどまらず、アメリカのコロラド大学やセントラルフロリダ大学、インド工科大学、スイスのチューリッヒ大学など、海外のトップクラスの研究機関にも製品が導入されており、グローバルに高い信頼を獲得しています。

社内組織は、役員2名、フルタイムのエンジニアなどの従業員3名、そして大阪大学の優秀な学生を中心としたアルバイト・開発アシスタントで構成される少数精鋭のチームです。創業フェーズ特有の自由で開かれた文化が根付いており、堅苦しいルールにとらわれることなく、個々の技術力や独創的なひらめきを存分に発揮できる環境が整えられています。お互いの個性を尊重し合い、柔軟で力強いチームワークのもとで、世界のサイエンスの芽を育む新たな製品開発へ情熱的に取り組んでいます。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

最先端の光計測・分析機器(分光顕微鏡、レーザー関連機器)の設計・開発・製造販売

代表取締役

内山 知也

設立年

2015年5月

資本金

29.9百万円

従業員数

11 - 50人

オフィス情報

メインオフィス

〒4340036

静岡県 浜松市浜名区 横須賀1335番地の1